



大阪・関西万博
フラッグシップアクション

「KYOTO地球環境の殿堂」国際会議・未来会議 9月20日（土）ぜひ、ご来場ください！

趣旨

万博テーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」のもと、京都1200年の歴史の中で培われた文化と多様な自然（いのち）の共存・調和による地球環境保全のレガシーについて、未来を担う新たな世代の探究を通じて、地球環境問題の根源は人間の文化の問題であることを再認識し、「環境日本学」を通じた人と地球の未来のあるべき姿を世界に発信します。

国際会議

2050年カーボンニュートラル実現に向けた課題について、京都議定書発効20周年を記念し、未来会議に参加した若者より「未来への提言」を行うとともに、過去の殿堂入り者と若者等が「気候変動」や「生物・文化多様性」のテーマで議論を行います。

- 日程：令和7年9月20日（土）
- 場所：国立京都国際会館
- 参加者：過去の殿堂入り者、有識者、高校生、大学生（海外含む）

プログラム

開会セレモニー：伝統文化・芸能パフォーマンス

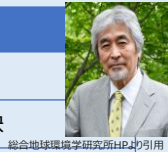
ビデオメッセージ：真鍋 叔郎氏による未来に向けたメッセージ放映

基調講演：山極 壽一氏

未来会議活動発表：ワークショップ等の活動発表

未来への提言：人と地球の未来のあるべき姿について提言

パネルディスカッション：殿堂入り者・若者等でテーマ「気候変動」、「生物・文化多様性」について議論



総合地球環境学研究所HPより引用



若者による「未来への提言」はじめ、
その他プログラムも盛り沢山！

地球の未来について、一緒に考えよう！
みなさまのご参加、お待ちしております～



あの著名人も来場予定！

※環境日本学：日本独自の人間文化と自然の共存・調和による未来可能性を探究するもの

未来会議

国内外の高校生・大学生が、京都1200年の歴史の中で守り、共存してきた自然環境と京都文化との関係について、ワークショップを通じて探究中。

参加人数 計 80名（高校生43名、大学生37名）

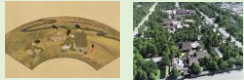
若者による最新の学びをお伝えしています！
～未来会議 特設HPはこちら～



◆ワークショップ 環境日本学に関連した3つのワークショップを実施（各3日間）

「古来文学」探究プロジェクト

古来文学（古今和歌集、枕草子、徒然草）に息づく古来の人々の心の在り方等に触れ、実際に体感し、古来の感情表現である和歌を詠む等の実践を経て考察を深めます。



○1回目 6月21日

場所：府立京都学・歴史館、府立植物園
古来文学において、動植物がどのように描かれ、筆者等が触れ合い、感じていたか等を学ぶとともに、和歌作り等を行います。

○2回目 8月2日

場所：嵯峨嵐山（桂川河川敷）、京都御所、京都迎賓館 等
古来文学にも登場する虫の音を実際に観賞するとともに、文学ゆかりの京都御所の見学、和菓子作り等を行います。

「伝統産業」探究プロジェクト

国内で古くから使用され伝統を守りながらも時代のニーズに対応してきた天然塗料「漆」について、産地の現状や自然と人間の関係性（生態系）を学ぶことで考察を深めます。



○1回目 6月22日

場所：堤浅吉漆店（下京区）
明治42年創業にして「サーフボード×漆」等新しい試みに乗り出す老舗漆店の工房見学、ふき漆体験を行います。

○2回目 8月3日

場所：合併記念の森（右京区京北）
植樹された漆の森に赴き、日本のものづくりを支えてきた産地の現状や自然と人間との関係性（生態系）について考察します。



「森里海」探究プロジェクト

古くから営まれてきた森里海が一体となった持続可能な暮らしを学び、森林づくり体験や定置網漁業などを実際に実践することで考察を深めます。



○1回目 6月8日

場所：ハビロー！の森 京都（南丹市）、保津川（亀岡市）
雑木伐採などの森林づくり体験や森と海をつなぐ川における環境保全活動を行います。

○2回目 8月18日、19日

場所：府海洋センター、養老漁港（宮津市）等
持続可能な漁法等を学ぶとともに、漁船に乗り、実際に定置網漁業体験を行います。

○3日目 8月23日（共通）京都市内 各プロジェクトの参加者が集まり、それぞれが得た学びを共有してとりまとめ、人と地球の未来のあるべき姿についての「未来への提言」を考えます。